

第8回プロジェクト会議 議事録

文責：須田

1.日時 2020年6月12日14:50～

2.場所 Zoom、Discord

3.参加者 伊藤壱、奥村輝、小山内駿輔、木島拓海、須田恭平、田澤卓也、對馬武郎、普久原朝基、藤内悠、宮嶋佑、山本侑吾、三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生

※()は欠席

4.決定事項

- Slack上にグループごとにチャンネルを作成

5.議論内容

- 現時点の進捗の共有

Group 1（伊藤、藤内、木島、宮嶋）

- 中間発表までの仮ゴール（詳細設計を決めながら設計案をCADに起こす）を設定した
- 予算で何を買うか、勉強にどのようなものが必要か話し合った
- 形はbe@rbrickを参考に進めることにした
- 3dプリンタでどこまで曲線的なものが表現できるのか？
 - 精度には30-40mmくらいのねじでも十分使える。ただし大きいものは部品を分割して作らなければいけない。小さいものだとゆがんだりする可能性がある。もしもの時は三上研究室のプリンター(UpBoxPlus)を借りれる（小さい部品に限る）
- 中間発表に向けての準備、何をアピールしたいかを全体で再確認が必要

Group 2（奥村、須田、對馬、山本）

- どこにどの部品を使うのか、買いたいものをリストアップした
- サーボモーターはどのくらいのモノを買えばいいのか
 - 首とか全体の重いモノをモーターで動かすならギアードモーターを使った方がいい。その場合はエンコーダ（回転数を測定できる）を使う。きちっと絶対位置を測定するなら光センサーのようなものも用いる必要がある。

Group 3（小山内、田澤、普久原）

- 連絡手段をまとめた。Slack、OneNote、・・・
- どういう機構を使って作るか調べ学習を行った
- ほしい機能について考えた。シナリオや動きの順番、詳細を話し合い考えた。
 - お客さんを確認・向く：音・左右だけでなく上下を判別・カメラ
 - 電子工作で試す：LEDランプの人のセンサーはどう実現されているのか

- アピールする：ロボットらしい音、音素材を使用するかについては未定
 - お客さんにアクションする
 - お客さんとコミュニケーションする
- 今後の活動
 - 来週までにシナリオ1-4の実装を目標
 - 個人の宿題としてマスターズガイドを読む、OneNoteを見直す
 - 試したい電子工作をまとめてくる
- 中間発表について
 - 資料作成でいい意見があれば教えてください
 - あまりにも必死になってやる必要はない
 - 動画用意できるとよい
 - スライドごとプレゼンを録画して動画化するのもあり
- 予算について
 - 前期はお試し程度なので1グループ3万前後で抑える
 - 届くまで1週間半くらいかかる。大まかにでもほしいものをまとめておく
- 大学で集まって活動できるのは？
 - 学部生の登校を認めるのは来週以降にならないとわからない
 - Paperoは1回見てほしい
- 機構の勉強をするにあたって手元にあったほうがいいものは？
 - おもちゃを買ってみて分解する
 - マイクロサーボを買ってみて動かしてみる
 - Arduinoを買って動かして遊んでみる
- Slack上にグループごとにチャンネルを作成して、先生方に共有する（テキストなどで）

6.次回までにやること

- 中間発表の詳細を各自で確認しておく
- スクラム開発ワークショップに参加する人はgeneralへ
- ほしきもののリストを作成し、Slackのgeneralに書く
- グループ週報、個人週報の提出[締切:6/9(火)22:00]

7.次回会議日程

日程：2020年6月17日（水）14：50～

場所：開始・終了時はZoom、グループでの話し合いはDiscord

内容：ほしきもののリストを作成、物の受け渡しの段取りを考える、中間発表の取り組み方について